

科目名	ヒューマンインタフェイス	英文表記	Human Interface	平成24年3月26日		
科目コード	6313					
教員名: タンスリヤボン スリヨン(Tansuriyavong Suriyon) 技術職員名:				作成		
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・情報工学コース	専2	選択	学修	2単位	講義	前期
科目目標	人間と機械やコンピュータとの適合を図るために、iPadやiPhoneを介したヒューマンインタフェースデザインについて理解する。					
総合評価	レポート課題1～5を各20%で総合評価する。総合評価点の60%以上を合格とする					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		
	①	iPadやiPhoneのアプリケーションの開発環境を整備できる。(A-2)		⇒	整備できるかどうか、レポート課題1で評価する	
	②	Objective C言語を利用してiPadやiPhoneで動作するアプリケーション開発ができる。(A-2)		⇒	開発できるかどうか、レポート課題2で評価する	
	③	自由かつ面白いアイデア・発想に基づくヒューマンインタフェースシステム(H.I.System)を考案し実装できる。(A-2)		⇒	できるかどうか、レポート課題3, 4, 5で評価する	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2
授業概要、方針、履修上の注意	<p>・本講義では、人間と機械やコンピュータとの適合を図るために、iPadやiPhoneを介した+B5の基礎と応用を学ぶ。また、各自の自由かつ面白いアイデア・発想に基づくヒューマンインタフェースシステム(H.I.System)を考案し、実装する。</p> <p>【履修上の注意点】</p> <p>・基礎の理論を学んだ後は、自学自習を覚悟して自己能力の向上に励むことが望ましい。</p> <p>・各自、開発環境を構築できるノートPCを持参すること。</p>					
教科書・教材	自作教材及びパワーポイントなどのプレゼン資料					
授 業 計 画						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			自学自習(予習・復習)内容
1	ガイダンス	2	授業概要および授業の進め方について理解する。			
2	ヒューマンインタフェースデザ	2	ヒューマンインタフェースデザインを理解する。			H.I. Systemについて
3	iPad、iPhoneアプリケーション	2	ソフトウェア開発環境を整備する。			iPad、iPhoneアプリの開発
4	開発の環境整備	2	ソフトウェア開発環境を整備する。			iPad、iPhoneアプリの開発 ①1
5	Objective C言語プログラミング	2	Objective C言語プログラミングを理解する。			Objective C言語
6		2	Objective C言語プログラミングを理解する。			Objective C言語
7		2	Objective C言語プログラミングを理解する。			Objective C言語 ②
8	H.I.System 応用(1)	2	iPad、iPhoneを利用したHuman Interface Systemの実装・実現を行う。			ヒューマンインタフェースシステムデザイン、システム実装。③3、④4
9	H.I.System 応用(2)	2				
10	H.I.System 応用(3)	2				
11	H.I.System 応用(4)	2				
12	H.I.System 応用(5)	2				
13	H.I.System 応用(6)	2				
14	H.I.System 応用(7)	2				
15	まとめ	2	実装したシステムを発表・評価する。			プレゼン資料作成。⑤5
期末	期末試験		実施しない			
16						
17						
18						
19						

20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
期末	期末試験		
学習時間合計		30	実時間
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)			22.5
①	レポート課題(授業内容の理解度を把握するための課題を課す。)	記号:①=レポ	各5時間×5
②	予習		各2時間×15
③			
備考欄			
<ul style="list-style-type: none"> ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 ・ 主たる関連科目は信号処理とメディア通信(5年)、情報理論(5年)、メディア情報工学実験I(2年)、メディア情報工学実験III(3年)である 			

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)